

三心を磨く

学校だより NO. 26
平成30年 8月24日(金)発行
須坂市立東中学校
文責：金井勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇◇2学期が始まって～東祭にむけての準備が加速、楽しみです◇◇



夏休みが終わり、数日が経ちました。相変わらず残暑が厳しいわけですが、学校に響き渡る生徒の声を聞くと、なぜかやる気が出てきます。

生徒たちは暑さに負けず、休み時間を使って大縄の練習をしたり、朝夕の学活では歌を練習したりと、もう完全に「学校モード」に切り替わっています。相変わらず清掃も素晴らしく、どの分担区でも時間いっぱい掃除ができています。

また、約1ヶ月後の東祭に向かって、その準備は加速しています。各委員会の動きが活発となり、夏休みなども使いながら細かな準備や制作が進んでいます。生徒会を中心として、ぬかりない準備を期待したいところです。

夏休み、大きな事故も無く、2学期に向かつての準備もできたように思います。気力や体力が充電され、様々な出来事に全力で取り組める準備も整いました。2学期は「85日間」と、もっと登校日数が多い「長丁場」ですが、1学期同様全力で駆け抜けられるよう、生徒・職員が一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

◇◇「東中学校前」リニューアル！◇◇

～バス停を美しく整えていただきました！～

東中学校前の国道403号線、この道路には路線バスが走っていますが、そこには「東中学校前」というバス停があります。ご存知ですか？

その立地場所からか、月日の流れなのか、排気ガスや雨風などにより、かなり老朽化が進み、建物も看板も薄汚れていました。

そんな中、仁礼コミュニティセンターの片桐先生を始め、地域の方々が清掃はもちろんのこと、建物のペンキの塗り替え、そして看板の修復などをボランティアで行っていただきました。とてもありがたいことでした。

片桐先生が、看板の修復をしてくださったのですが、その際、ある文字が看板の裏側から浮かび上がって来たといいます。それは…



左の写真がそれです。そこには

「1993.11.17 東中学校 技術部・美術部 制作」とありました。これは、東中の先輩方の制作だったのです。今から25年前ですから、現在38歳から40歳くらいのことになられているのでしょうか、本校の40周年記念誌にも、このエピソードは綴られていましたが、大切なお宝を「再発見」することができました。

本校の先輩たち、技術部と美術部の皆さんが作ったものです。出会えたことが、とてもよかったです。ご連絡いただいた片桐先生、ありがとうございました。

この看板は、夏休み前の1週間、玄関に飾られ、夏休み中、「東中学校前」のバス停に再度、飾られました。この先もあの場所で、私たちの東中学校と生徒たちを見守ってくれるはずで、大切にしたいと思ひます。保護者の皆さんも、是非お車を止めて、ご覧ください。

◇平成30年7月豪雨「義援金」生徒会の募金活動の姿から！◇



6月28日から7月8日頃にかけて、西日本を中心に、北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された「台風7号」および「梅雨前線」などの影響による集中豪雨がありました。これにより、多くの方々が犠牲となり、被災されました。そんな事実を知り、状況を把握した生徒たち、「私たちにできることは何か？」を考えました。そして始めたことが「募金活動」でした。募金活動を始めたのが7月18日、18日(水)から20日(金)までの3日間を「募金活動の日」とし、朝の活動として呼びかけを行いました。また、昼の放送を使い、生徒会長が募金の趣旨を全校生徒に伝える活動

もありました。「考えたことをすぐに実施する」ととても大切な試みだったと思います。3日間の募金の総額は「61,326円」でした。わずか3日間でしたが、多くの皆さんにご協力をいただきました。

また、この活動は金額の大きさではなく、その思いをどう伝えるのか？何ができるか？具体的に動けたか？などが重要となります。そこに挑んだ生徒会役員たちの姿に感激しました。募金は、24日(火)に、須崎市社協の会長さんにお渡ししました。今後は社協を通して日本赤十字へ送ります。生徒や保護者の皆さんの気持ちが、被災者の皆さんに届けばと思います。



須崎市社協の会長さんに「お願いします！」

◇◇平成時代最後の夏休みの様子から～補習や懇談会、水やり◇◇



夏休み、学校ではいろいろな様子を目にすることができました。「学校は休みでも、生徒たちは動いている」ということを改めて実感しました。右の写真は、玄関前のメイン花壇です。

ここには、須崎市が大切にしている花「カンナ」が植えられています。その花壇で「水やり」や「草取り」をしている生徒がいました。時間が朝の7時頃です。美化委員の役員、3年生の姿です。立派でした。自分たちの仕事に誇りを持ち、さぼらず、草取りまでする姿に「3年生」として、「役員」としてのプライドを感じました。ただひたすらに水をやり、黙々と草を取る…カンナの喜びの

声、その花壇の中で光り輝く2人を感じました。ありがとうございました。

7月31日からは「補習」が行われました。本校が補習に取組初めて3年目、今では県内各校で80%を越える学校が取組始めたと聞きます。東中の取組が先駆的な役割を果たしてきたといっても過言ではありません。「午前中の涼しい時間に…」を基本に、3時間の補習をしました。

生徒たちは、夏休み中に仲間たちに会える喜びや楽しさも手伝ってかとても元気に爽やかに補習に向かうことができました。

また同時に、「保護者懇談会」が行われました。保護者の皆さん、暑い中をありがとうございました。生徒たちの1学期の姿から見えてきたこと、ご相談したいことやお聴きしたいこととお話したり、学校への要望や願いをお聴きしたりすることができました。ありがとうございました。夏休みの過ごし方はもちろん、大切に長い(85日間)2学期に向け、準備もできました。これからの指導や活動に活かして参ります。

27日間の夏休みを経て「充実の秋」へ突入です。生徒・職員が一丸となって挑める秋にして参ります。

